

令和7年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【大久保東小学校】

⑥	次年度への課題と学力向上策
知識・技能	
思考・判断・表現	

①	今年度の課題と学力向上策	
	学習上・指導上の課題	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能	<学習上の課題> 高量の特徴や使い方に關する事項や図形の基本的な知識事項、四則演算のきまりなどの基礎的・基本的な知識・技能面に課題が見られる。 <指導上の課題> 児童一人ひとりの課題に応じた既習内容の復習や振り返り、また、国語科における文法上の関係(主語述語の関係など)の理解の定着に課題が見られる。	⇒ 朝の学習の時間を利用し、「学習ドリル」や「ドリルパーク」など個別の学習進度や学習理解に合わせて取り組める教材を活用し、一人ひとりの理解の定着を図る。【週1回程度、朝の学習時間に実施】 ⇒ 学力向上カウセリング学校訪問を利用し児童の実態把握を進め、本校の実態に沿った基礎的・基本的な知識・技能の向上を図る。【学力向上カウセリング学校訪問・校内研修を実施】
思考・判断・表現	<学習上の課題> 自分の考えを表現したり、長文の問題や多くの情報を整理したり、目的や意図に応じて情報を取捨選択したりする点に課題がある。 <指導上の課題> 多様な表現方法を用いる機会や、問題や資料の意図を確認しながら協働的な学びとなる機会を学習の中に設定する。	⇒ 授業では、目的や意図に応じて自分の考えを言葉や図で表現できるように「ミライシード」や「Microsoft Teams」、「Canva」などを活用する機会を多く設定する。【随時】 ⇒ ICT機器を活用し、学習の振り返りを共有したり、考えを比べ合ったりする活動を通して一人ひとりの学びが深まるようにする。【単元ごと】

⑤	評価(※)	学力向上策の実施状況
知識・技能	①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等	
思考・判断・表現		

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能		
思考・判断・表現		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告	中間期見直し
	評価(※)	学力向上策の実施状況
知識・技能		
思考・判断・表現		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)